

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

勝池レポート      アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「インドのバフェット、ジュンジュンワラ氏逝く」

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

8月14日、「インドのウォーレン・バフェット」と呼ばれた投資家のラケシュ・ジュンジュンワラ氏が死去しました。

彼は1980年代、インドの株価指数のSENSEXが150ポイントの頃に、5,000ルピー（約400米ドル）を元手に株式投資を始めました。その後SENSEXは上昇を続け現在では60,000ポイントに迫っています。彼の家族の資産は、その400倍の市場の値上がりと、彼の卓越した運用手法により58億米ドル（約8,000億円）にまで増えたと言われています。

ジュンジュンワラ氏の成功は、インドの個人投資家を株式投資の魅力に目覚めさせました。以下は彼が投資家に送った幾つかの投資のヒントです。

「インドを信頼していれば、長く株式市場に投資することができる。」

「あなたの忍耐は試されるだろう。しかし、あなたの信念は報われるだろう。」

「株は買う前に20回考える。売る前に50回考える。」

「何を買うかは慎重に決めるべきだが、本当にそんなに早く売る必要があるのかも十分に考慮すべきだ。」

「テーブルの上には沢山の料理が並んでいるが、自分が消化できる分だけ食べなさい。」

インドのマヒンドラ・グループ会長のアナンド・マヒンドラ氏は、ジュンジュンワラ氏が晩年に述べた以下のアドバイスが最も価値があると言っています。

「私の最悪の投資は自分の健康だ。みなさんには、健康に最大の投資をすることを奨める。」

ジュンジュンワラ氏は、心臓発作で62歳という若さで帰らぬ人になりました。ここ数年は、自分が殆ど健康に気を使ってこなかったことを悔やんでいたようです。

マヒンドラ氏は更に、「私の記憶にいつも残っているのは、彼の揺るぎないインドへの愛国心と、断固としたインドへの信頼です」と述べています。

タタ・グループのラタン・タタ名誉会長も、「ラケシュ・ジュンジュンワラのインド株式市場についての鋭い理解と先見の明はいつも思い出されるだろう」

と追悼の意を表明しています。

ジュンジュンワラ氏は亡くなる前の数日、「インドの黄金時代は始まったばかりだ」と一段と力を込めて繰り返していたそうです。

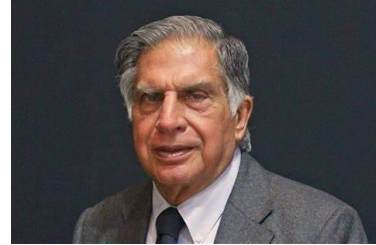
インドでは75回目の独立記念日の前日にインド市場の巨星が墮ちました。大変悼まれます。



ラケシュ・ジュンジュンワラ



アナンド・マヒンドラ



ラタン・タタ